

# ラジオカセットコーダー

## 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。  
**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。  
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2004 Sony Corporation Printed in China

## 主な特長

- スピーカー、ラジオ、録音機能付き：ラジカセ感覚で使えるウォークマン。
- 内蔵マイクで簡単に録音、また外付けマイク（別売り）でステレオ録音も可能。
- 録音・再生オートリバース。
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える。録音・再生 標準／2倍モード\*1。
- 簡単にラジオ選局ができる、スーパーエアコールド選局。
- 使いやすい、選局ジョグダイヤル。
- テレビ（1～12ch）の音が聞ける\*\*、TV/FM/AM3バンドチューナー。
- 海外でも使えるワールドワイドチューナー。

\*1本機の2倍モード（2.4cm/s）で録音したテープは、2倍モードのないカセットプレーヤー／テープレコーダーでは正しく再生できません。

\*\*地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声聞くことはできません。

## 付属品を確かめる

- ソニーマンガン乾電池 R6P (SR) (2本) (お試し用)\*
- ヘッドホン

- 取扱説明書・保証書
- 周波数一覧表
- ソニーご相談窓口のご案内

\*付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

## 警告 安全のために

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

## 保証書とアフターサービス

- 保証書
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ  
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

**保証期間中の修理は**  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

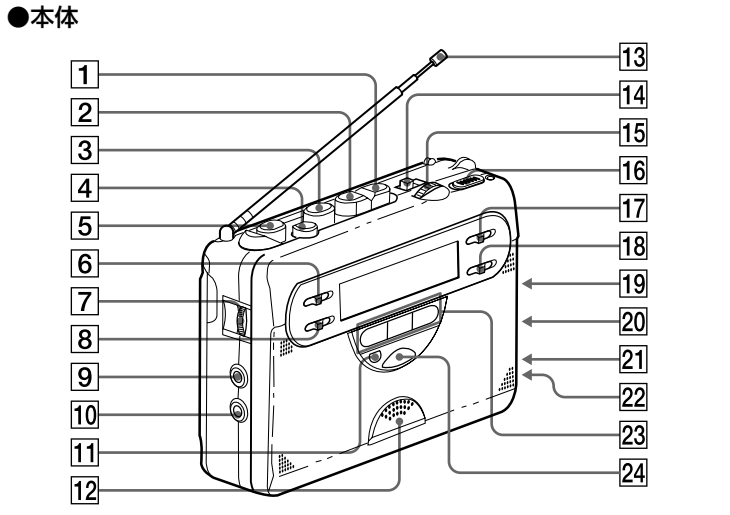
**保証期間経過後の修理は**  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**  
当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 <http://www.sony.co.jp/support>

<b>使い方相談窓口</b>	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
フリーダイヤル……………0120-333-020	【304】+【#】
携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2511	
<b>修理相談窓口</b>	を押し続けてください。直接、担当窓口へおつなぎします。
フリーダイヤル……………0120-222-330	おつなぎします。
携帯電話・PHS…一部のIP電話…0466-31-2531	
<b>FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金9:00～20:00 土・日・祝日9:00～17:00</b>	
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

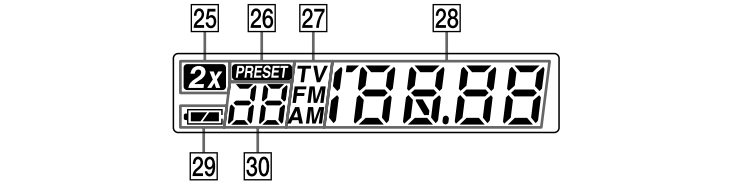
## 各部のなまえ



- |                       |                                    |
|-----------------------|------------------------------------|
| 1 早送り/キューボタン          | 14 ◀反転▶スイッチ                        |
| 2 巻戻し/レビューボタン         | 16 選局ジョグダイヤル                       |
| 3 ◀▶再生ボタン*            | 16 一時停止スイッチ                        |
| 4 ■停止ボタン              | 17 選局モードスイッチ                       |
| 5 ●録音ボタン              | 18 サウンドブーストスイッチ                    |
| 6 ホールド（誤動作防止）スイッチ     | 19 FM MODE (MONO/ST) モード モノラル ステレオ |
| 7 音量つまみ**             | 20 AVLSスイッチ                        |
| 8 標準／2倍モードスイッチ        | 21 ISS (AM放送録音妨害除去) スイッチ           |
| 9 ◊（ヘッドホン）ジャック        | 22 DC IN 3Vジャック                    |
| 10 マイク（プラグインパワー）ジャック* | 23 TV、FM、AM（バンド選択）ボタン              |
| 11 エリアボタン             | 24 ラジオ切ボタン                         |
| 12 Flat Mic（内蔵マイク）    |                                    |
| 13 ロッドアンテナ            |                                    |

\* ボタンに凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。  
\*\* 音量「大」の方向に凸点があります。

## ●表示窓



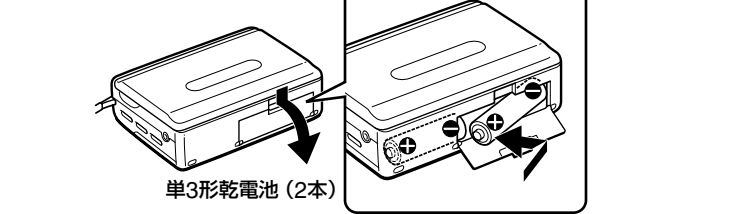
- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 25 2倍モード表示  | 28 メイン表示（再生モード、周波数、チャンネル） |
| 26 PRESET表示 | 29 電池残量表示                 |
| 27 バンド表示    | 30 プリセット番号／エリア表示          |

## 準備する

コンセントについての使いかたは、裏面の「電源」をご覧ください。

## 1 乾電池を入れる

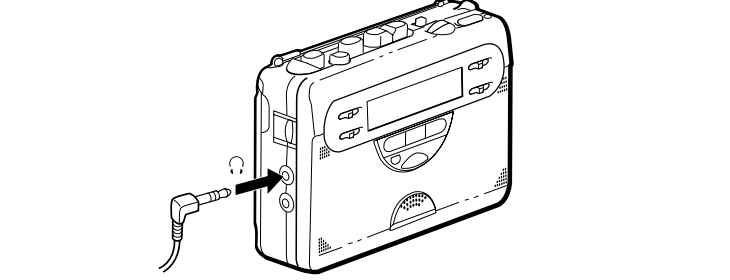
単3形乾電池（2本）を、図のように⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池ふたがはずれたときは図のように取り付けます。

## 2 ヘッドホンをつなぐ



スピーカーで聞くときは本体からヘッドホンを抜きます。スピーカーから音が聞こえ、ヘッドホンからは音が聞こえなくなります。また、スピーカー使用中はAVLSとサウンドブーストは動きません（「その他の機能を使う」参照）。

**ヘッドホンの使いかた**  
ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときはおさまりのいい位置に調節してください。



## 録音する

両面録音できます。

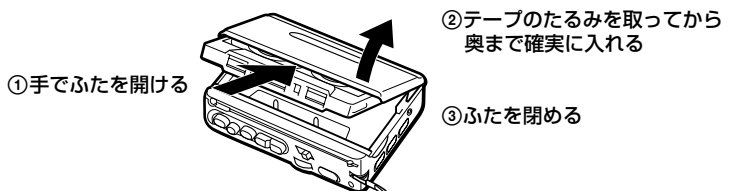
- 録音するときは、2本ともなるべく新しい乾電池をお使いください。
- ツメが折れている面には録音できません（「録音するときの注意」参照）。

## ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合、必ず事前のために録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむもののほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

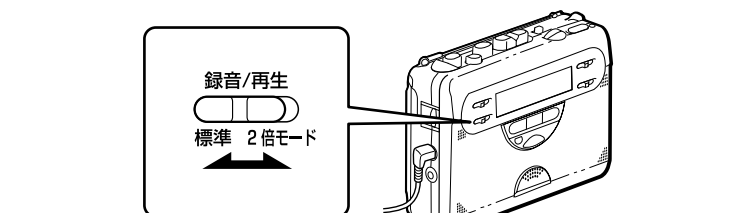
## 1 カセットを入れる

録音には、TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。



録音方法	カセットの入れかた	◀反転▶スイッチ
両面を続けて録音するとき	録音を始めた面がふた側になるようにカセットを入れる。	おもて面
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	うら面

## 2 「標準」または「2倍モード」を選ぶ



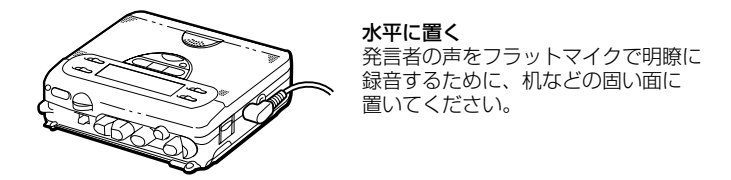
「標準」または「2倍モード」スイッチをどちらかに合わせる

標準（4.8cm/s）： 通常の録音をするとき。「2倍」のときより良い音で録音できます。

2倍モード（2.4cm/s）： テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。（60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。）

## 3 音源を選ぶ

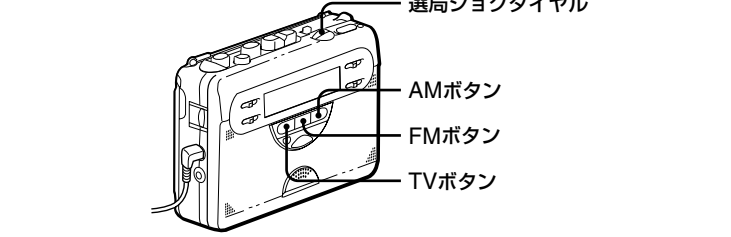
### 内蔵マイクで録音する



水平に置く  
発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机などの固い面に置いてください。

### ラジオ/TV放送を録音する

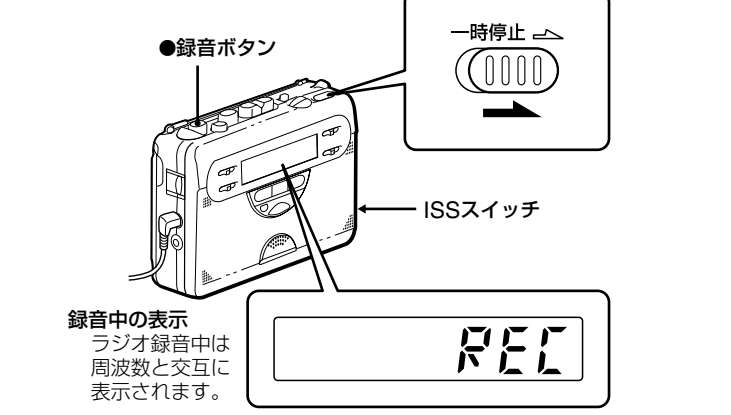
FM、AM、またはTVを受信する（「ラジオを聞く」参照）



！ ラジオ録音中に選局モードを切り換えしないでください。周波数が変わります。また、ラジオ録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。雑音が入ります。

## 4 録音を始める

● 録音ボタンを押します。同時に◀▶再生ボタンが押され、録音が始まります。



テープが終わりまできるとふた側（おもて面）から録音を始めたときは、自動的に本体側（うら面）に切り換わり、うら面の終わりまで録音して自動的に止まります（両面録音）。また、うら面から録音を始めたときはその面の終わりで自動的に止まります（片面のみ録音）。

ご注意  
両面録音時、おもて面からうら面に切り換わる際の約10秒間、録音が途切れます。

**録音を一時停止するには**  
録音中に一時停止スイッチを矢印の方向にずらすと、録音は一時停止します。録音を再開するときは、一時停止スイッチを矢印と反対の方向にずらします。

**録音を止めるには**  
■ 停止ボタンを押します。

**AMを録音中に雑音が開聞こえたら**  
本体側面のISSスイッチを雑音が消える位置（1、2または3）に切り換えます。

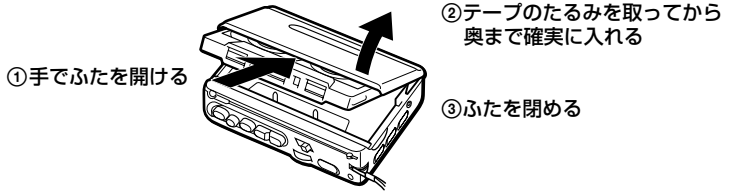
**録音レベルについて**  
録音される音量は一定です。音量つまみやAVLSスイッチの設定に影響されません（「その他の機能を使う」参照）。

## テープを聞く

テープ片面の再生が終わると、自動的に反対面の再生に変わり、両面を再生します。（オートリバース機能）

## 1 カセットを入れる

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

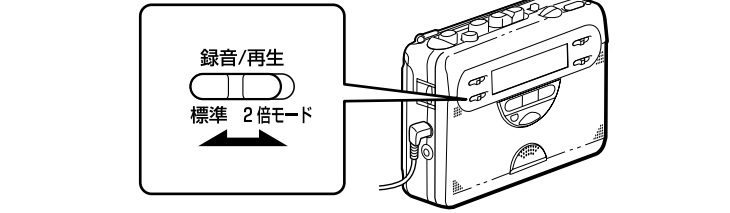


## 2 ラジオを消す

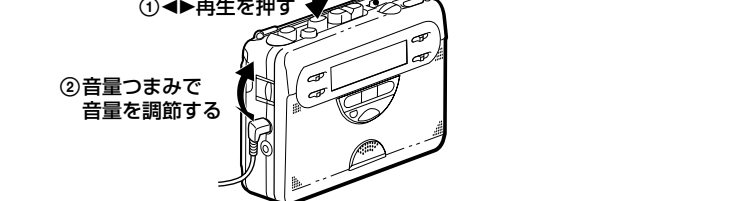
ラジオ切ボタンを押します。

## 3 「標準」または「2倍モード」を選ぶ

「標準／2倍モード」スイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



## 4 再生する



テープ速度がおかしいときは、「標準／2倍モード」スイッチを確認してください。

## その他のテープ操作

操作	操作するボタンまたはスイッチ
再生面の切り換え*	反転スイッチ（▶：おもて面（ふた側）、◀：うら面（本体側））
停止	■ 停止
早送り／巻戻し**	停止中に早送り／キューまたは巻戻し／レビュー
一時停止する	一時停止スイッチを矢印の方向へずらす
音を聞きながら早送りする（キュー）	再生中に早送り／キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す（レビュー）	再生中に巻戻し／レビューを押し続ける

\* うら面から再生を始めたときは、うら面のみ再生します。  
\*\* 早送り／巻戻しをしてテープが巻き取られたあとそのままにしておくと、電池が急激に消耗するので、必ず■停止ボタンを押してください。

**キュー／レビュー時のご注意**  
キュー／レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならないことがあります。そのときは、いったん■停止ボタンを押してから、◀▶再生ボタンを押して、再生を始めてください。

！ テープ走行中はカセットふたを開けないでください。

## ▶録音する一応用

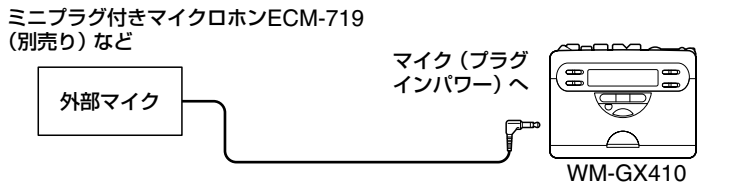
### 録音の便利な機能を使う

**後追い録音をする**  
再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

**録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）**  
録音中に巻戻し／レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

### 外付けマイク（別売り）で録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

ご注意  
上記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

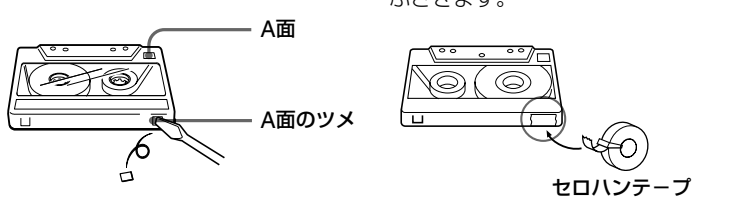
## 録音するときの注意

- 録音について
- 録音ボタンは録音開始の2秒くらい前に押してください。直前に押すと最初の部分が録音されません。
- 録音するテープにはTYPE I（ノーマル）テープをお使いください。ハイポジションテープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。
- 録音中は反転スイッチは動きませぬ。無理に動かすと故障することがありますのでご注意ください。
- 電池が消耗すると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池を新しいアルカリ乾電池と交換してください。

### マイク録音について

- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、雑音で録音されることがあります。
- マイク録音中は録音している音をスピーカーで聞くことはできません。

**大切な録音を守るには**  
ツメを折って取り除きます。再び録音するには、穴をふさぎます。



ツメを折った面には、録音することができません。

ゼロハンテープ

# ラジオを聞く

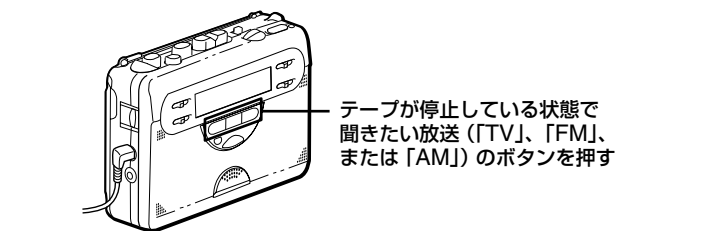
本機では、次の2つの方法でラジオを受信できます。

- マニュアル選局**
希望の周波数を自分で選んで受信します。
- スーパーエリアコール選局**

本機には全国15の地域別（エリア番号1～15）に、各地域の主な放送局が記憶されています。ラジオを使う地域のエリア番号を設定し、聞きたい放送局のプリセット番号（付属の「周波数一覧表」参照）を選ぶだけで簡単に選局できます。

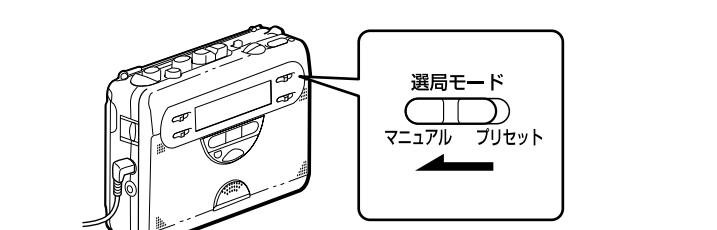
## マニュアル選局

## 1 ラジオをつける



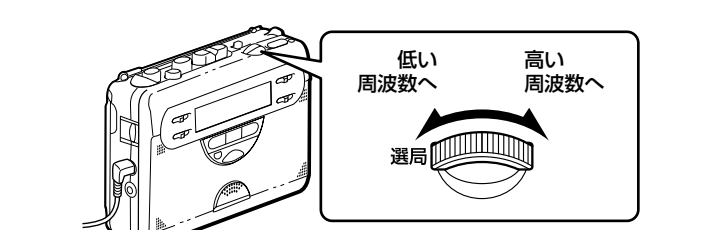
テープが停止している状態で聞きたい放送（ITV）、FM）、または「AM）」のボタンを押す

## 2 選局モードを選ぶ



選局モードスイッチを「マニュアル」に合わせる

## 3 放送局を選ぶ



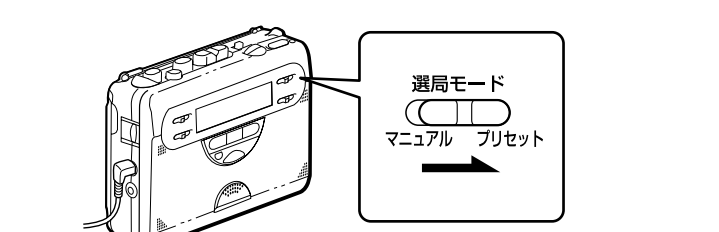
選局ジョグダイヤルを回して聞きたい放送局の周波数を選ぶ

## スーパーエリアコール選局

## 1 ラジオをつける

テープが停止している状態で、「TV」「FM」「AM」ボタンのいずれかを押します。

## 2 選局モードを選ぶ

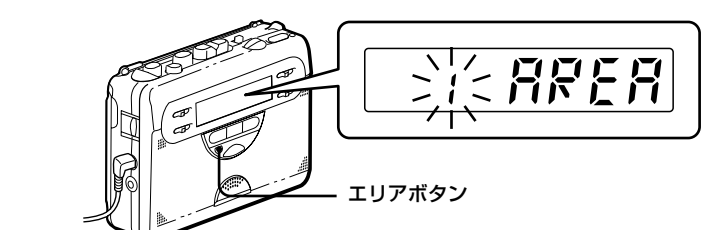


選局モードスイッチを「プリセット」に合わせる

## 3 地域を設定する

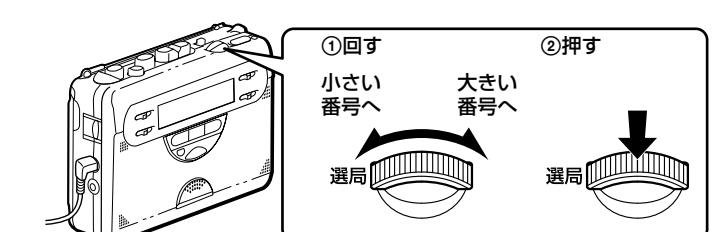
ラジオを使う地域を設定します。同じ地域で使うとき、次からはこの設定は不要です（手順4へ）。

- エリアボタンを「AREA」が表示されるまで押す
「AREA」が表示されるとともに、エリア番号が点滅します。



エリアボタン

- エリア番号点滅中に選局ジョグダイヤルを回し、ラジオを使う地域のエリア番号を表示させたら選局ジョグダイヤルを押す（右上の「\*エリア番号一覧」参照）
エリア番号が決定します。



選局ジョグダイヤルを回して聞きたい放送局の周波数を選ぶ

## 4 放送局を選ぶ

聞きたい放送（ITV）、FM）、または「AM）」のボタンを押してから、選局ジョグダイヤルを回して放送局の周波数を選びます（付属の「周波数一覧表」参照）。

\* エリア番号一覧

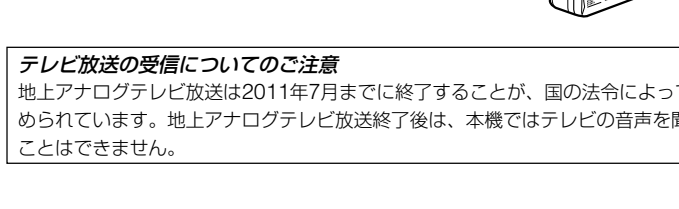
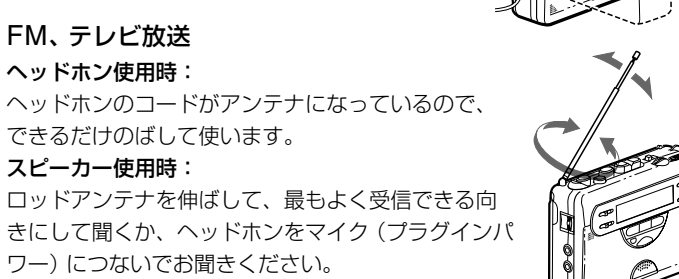
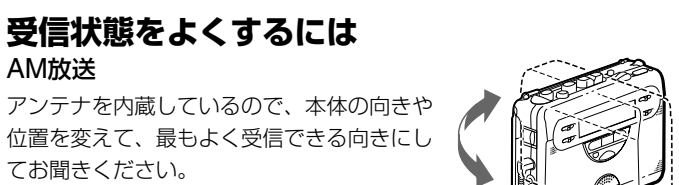
番号	地域	番号	地域
1	北海道	9	大阪 京都 兵庫
2	青森 秋田 岩手	10	滋賀 奈良 和歌山
3	宮城 山形 福島	11	鳥取 島根 岡山 広島
4	千葉 埼玉 東京 神奈川		山口
5	茨城 群馬 栃木	12	徳島 香川 愛媛 高知
6	山梨 静岡 長野	13	福岡 佐賀 長崎 大分
7	愛知 岐阜 三重	14	熊本 宮崎 鹿児島 沖縄
8	新潟 富山 石川 福井	15	JR*

\* JRは新幹線で使うときに選びます。東海道、山陽新幹線の車両に限ります。グリーン車内ではご利用できません。

### ラジオを消すには

ラジオ切ボタンを押す。

- うまく受信できないときにはマニュアル選局で周波数を選んで受信してください。



**テレビ放送の受信についてのご注意**  
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声聞くことはできません。

- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合はお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、ラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部の金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなる場合があります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞かせください。
- ロッドアンテナの角度や向きを調節するときは、付け根の部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

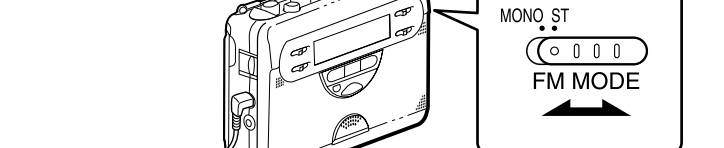
- ご注意**
  - 同じプリセット番号に新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。
  - 次の操作をすると、記憶させた放送局の設定は消えてしまいます。
    - スーパーエリアコール選局で地域を設定する
    - 海外でラジオを聞くためにエリアを切り換える

## 記憶した放送局を受信する（プリセット選局）

- ラジオをつける**
聞きたい放送（ITV）、FM）、または「AM）」のボタンを押す。
- 選局モードを「プリセット」に合わせる**
- 選局ジョグダイヤルを回してプリセット番号を選ぶ**

ステレオ放送を聞くとき

ステレオ放送を聞くときはFM MODEスイッチを「ST」（ステレオ）に合わせます。雑音が多いときは「MONO」（モノラル）にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。またAM、テレビはステレオにはなりません。



## ▶ラジオを聞くー応用

## 海外でラジオを聞く

- !** 以下の手順に従ってエリアを切り換えると、自分で記憶させた放送局（マニュアルプリセット）の設定は消えてしまいます。ご注意ください。

- ラジオ切ボタンを押してラジオを消す
- 「JPN」、 「USA」、または「Eur」が点滅するまでFMボタンを押す
- 選局ジョグダイヤルを、ラジオを使うエリア（「JPN」、 「USA」、または「Eur」）が表示されるまで回す
- 選局ジョグダイヤルを押してエリアを決定する

使う地域	エリア表示	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ、中南米諸国	USA	FM: 87.5 ～108MHz <p>AM: 530 ～1,710kHz</p>
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 ～ 108MHz <p>AM: 531 ～ 1,602kHz</p>

- 日本の周波数に戻すには手順2で「JPN」を表示させ、選局ジョグダイヤルを押す。

## いつも聞く放送局を記憶させる（マニュアルプリセット）

AM8局、FM8局、TV8局、合計24局まで記憶できます。

- ラジオをつける**
記憶させたい放送（「TV）、FM）、または「AM）」のボタンを押す。
- 選局モードを「プリセット」に合わせる**
- 選局ジョグダイヤルを回して、放送局を記憶させたいプリセット番号を表示させる**
- 選局ジョグダイヤルを押す**
プリセット番号が点滅します。

- !** プリセット番号が点滅した後も選局ジョグダイヤルを押し続けると、周波数が点滅します。そのときは、選局ジョグダイヤルを押して周波数の点滅を止めてから、もう一度手順4を行ってください。

- 表示点滅中に選局ジョグダイヤルを回して、記憶させたい周波数を表示させる**
- 表示点滅中に選局ジョグダイヤルを押して決定する**

- ご注意**
  - 同じプリセット番号に新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。
  - 次の操作をすると、記憶させた放送局の設定は消えてしまいます。
    - スーパーエリアコール選局で地域を設定する
    - 海外でラジオを聞くためにエリアを切り換える

## 記憶した放送局を受信する（プリセット選局）

- ラジオをつける**
聞きたい放送（ITV）、FM）、または「AM）」のボタンを押す。
- 選局モードを「プリセット」に合わせる**
- 選局ジョグダイヤルを回してプリセット番号を選ぶ**

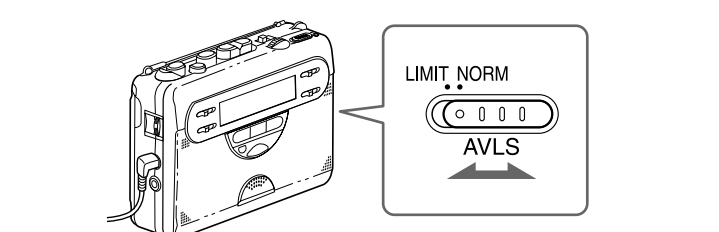
## プリセット選局の便利な聞きかた

- ラジオをつける**
聞きたい放送（「TV）、FM）、または「AM）」のボタンを押す。
- 選局モードを「プリセット」に合わせる**
- 手順1で押したボタン（ITV）、FM）、または「AM）」を2秒以上押しただままにする**
表示窓の表示が点滅し、記憶された局がプリセット番号1から順に約5秒間ずつ放送されます。
- 聞きたい放送局が放送されている間に再度同じボタン（ITV）、FM）、または「AM）」を押す**
これで、選んだ放送局を受信できます。

- ご注意**
  - 放送局が1局も記憶されていない場合は、この機能は働きません。
  - 選局モードを「プリセット」に設定していない場合は、この機能は働きません。
  - 手順4でバンド選択ボタンを押さない、手順3のまま自動受信が続きます。

## ▶その他の機能を使う

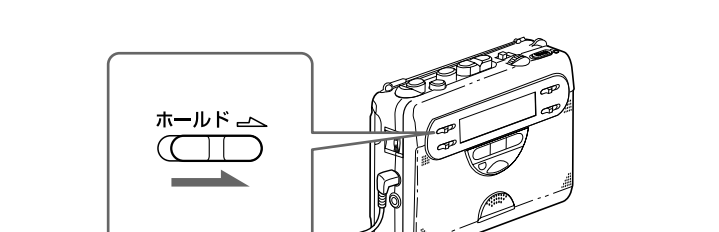
## 音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLSー快適音量）（ヘッドホン使用時のみ）



AVLSスイッチを「LIMIT」にします。（AVLSスイッチは録音される音には影響しません。）

## 誤操作を防ぐ（ホールド機能）

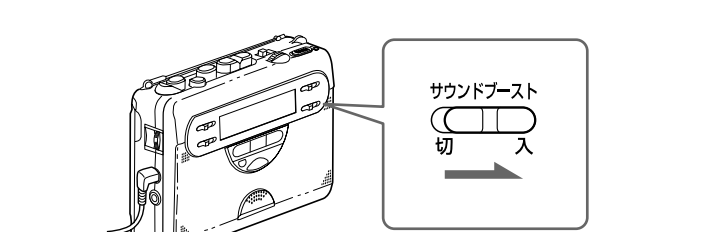
ホールドスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。「TV」「FM」「AM」「エリア」「ラジオ切」ボタンと、選局ジョグダイヤルに動きます。



- ご注意**
  - 標準／2倍モードスイッチにはホールド機能は働きません。

## 迫力ある音を楽しむ（ヘッドホン使用時のみ）

サウンドブーストスイッチを「入」にすると、高音と低音が強調され、迫力ある音で楽しむことができます。



- ご注意**
AVLSスイッチを「LIMIT」にしてある場合は、サウンドブースト効果は少なくなります。

### ▶電源

### 乾電池の取り換え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換してください。

乾電池は、別売りのソニーアルカリ電池のご使用をおすすめします。

<b>電池の残量がなくなると、表示でお知らせします</b>			
<b>表示</b>			
<b>意味</b>	残量は充分です。	残量が少なくなってきました。	電池が消費しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

<b>電池の持続時間について*</b>			
<b>使用電池</b>	ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）**	ソニーマンガン乾電池R6P（SR）	
<b>測定条件</b>			
<b>（ヘッドホン使用）</b>			
テープ再生時	約24時間	約6時間	
ラジオ受信時	約48時間	約15時間	
マイク録音時	約20時間	約4.5時間	
ラジオ録音時	約12時間	約3時間	
<b>（スピーカー使用）</b>			
テープ再生時	約10時間	約2.5時間	
ラジオ受信時	約17.5時間	約5時間	
ラジオ録音時	約6.5時間	約1時間	

\*JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。（ソニーHFシリーズカセットテープ使用）

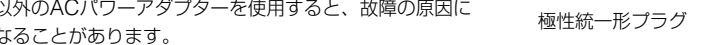
\*\*日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

- ご注意**
  - 乾電池の交換は2分以内に行ってください。2分以上経過すると、記憶した放送局は消えてしまいます。
  - 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なくなることがあります。
  - 電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。
- 長時間テープについて90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなる場合があります。
- エンドレスカセットテープについて
  - エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
  - 付属のヘッドホンをご使用中、脚に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談ください。

## コンセントにつないで使う

- 別売りのACパワーアダプターAC-E30L（日本国内用）を本体側面のDC IN 3Vジャックにつなぐ
電源は、自動的に内蔵の乾電池からACパワーアダプターに切り換わります。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ

コンセントにつないで使うときは**ご注意ください**。この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L（磁性統一形プラグ：JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

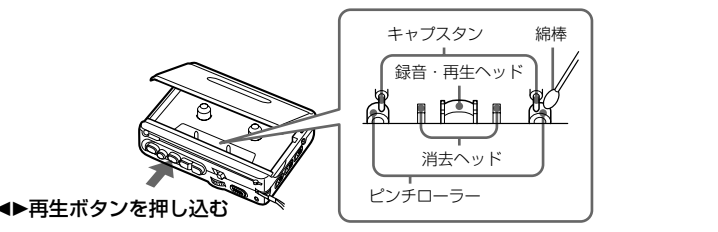


磁性統一形プラグ

### ▶その他

### お手入れ

**よい音でテープを聞くために**  
10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。



**◀再生ボタンを押し込む**  
本体表面が汚れたときは水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からびきます。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

**ヘッドホンプラグのお手入れについて**  
常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからびさし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

## 使用上のご注意

**取り扱いについて**

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 湿度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなり、表示の変わりがたゆつくりになることがあります。常温になれば元に戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、一度本機を数分間再生状態にしてから使い始めてください。
- 長時間テープについて90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなる場合があります。
- エンドレスカセットテープについて
  - エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
  - 付属のヘッドホンをご使用中、脚に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談ください。

●電池の交換は2分以内に行ってください。2分以上経過すると、記憶した放送局は消えてしまいます。●早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なくなることがあります。●電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。●長時間テープについて90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなる場合があります。●エンドレスカセットテープについて

- エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のヘッドホンをご使用中、脚に合わないと感じたときは、早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談ください。

<b>取り扱いは</b>	市販のクリーニングカセットやクリーニングキットできれいにする。
<b>音が途切れる雑音が生ずる</b>	ヘッドホンのプラグが汚れている。プラグをきれいにクリーニングする。 <p>乾電池が消費している。乾電池を2本も新しいものと交換する。</p>
<b>FM/TVの受信状態が悪い</b>	（「ラジオを聞く」参照）ヘッドホンを最後まで差し込む。ロッドアンテナを受信状態の良いほうに向ける。または、ヘッドホンをマイクジャックにつなぐ。
<b>ヘッドホン使用時：スピーカー使用時：</b>	ヘッドホンの差し込みが不完全。ロッドアンテナの向きが悪い。
<b>AMの受信状態が悪い</b>	本体の向きが悪い。本体を回して受信状態のよいほうに向ける。（「ラジオを聞く」参照）
<b>前の録音が完全に消えない</b>	ヘッドが汚れている。ヘッドをクリーニングする。 <p>ハイポジション、メタルのテープを使っている。TYPE I（ノーマル）テープ</p>
<b>表示窓の表示がおかしい</b>	いったん乾電池を取り出して10分以上経ってから入れ直す。プリセット番号に記憶させた放送局は消えてしまいます。記憶させ直してください。

●デレピ放送が聞こえない。地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声聞くことはできません。

●キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- ヘッドホンについて**
  - 交通安全のために自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。
  - 耳を守るために耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
  - まわりの人のことを考えてヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## 故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
スピーカーから音が出ない	ヘッドホンがつながったままになっている。音量が最小になっている。	ヘッドホンを本体から抜く。音量つまみで音量を調節する。
再生できない／再生・早送り・巻戻しボタンが押し込めない	ラジオがついていない。	ラジオ切ボタンを押す。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする	標準／2倍モードスイッチが録音時と違う位置にある。	反対側に切り換える。
再生音がおかしい	乾電池が消費している。	乾電池を2本も新しいものと交換する。

- 録音ボタンが押せない
  - 誤消去防止用のツメが本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  - AVLSスイッチが働いている。AVLSスイッチを「NORM」にする。
- 音量が大きくなりすぎない
  - AVLSスイッチが働いている。AVLSスイッチを「NORM」にする。
- 雑音が入ることがある
  - 本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
  - 携帯電話などから離れて使用する。
- 雑音が多く、音質がよくない
  - 乾電池が消費している。乾電池を2本も新しいものと交換する。
  - ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。市販のクリーニングカセットやクリーニングキットできれいにする。

●音が途切れる雑音が生ずる
ヘッドホンのプラグが汚れている。プラグをきれいにクリーニングする。
乾電池が消費している。乾電池を2本も新しいものと交換する。

●FM/TVの受信状態が悪い
ヘッドホン使用時：ヘッドホンの差し込みが不完全。ロッドアンテナを受信状態の良いほうに向ける。または、ヘッドホンをマイクジャックにつなぐ。
スピーカー使用時：ヘッドホンの向きが悪い。

●AMの受信状態が悪い
本体の向きが悪い。本体を回して受信状態のよいほうに向ける。（「ラジオを聞く」参照）

●前の録音が完全に消えない
ヘッドが汚れている。ヘッドをクリーニングする。
ハイポジション、メタルのテープを使っている。TYPE I（ノーマル）テープ

●表示窓の表示がおかしい
いったん乾電池を取り出して10分以上経ってから入れ直す。
プリセット番号に記憶させた放送局は消えてしまいます。
記憶させ直してください。

●デレピ放送が聞こえない。地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声聞くことはできません。

## 主な仕様

- テープレコーダー部・共通部**

コンパクトカセットステレオ
直径3.6 cm
2個
4.8 cm/s、2.4 cm/sのスピード切り換え（標準・2倍モード切り換え）
テープ速度
周波数範囲\*
録音・再生時：100～8 000 Hz
（標準／2倍モードスイッチ「標準」時）
マイク（ステレオミニ）ジャック1個
最小入力レベル 0.2 mV

入力端子
ヘッドホン（ステレオミニ）ジャック1個
負荷インピーダンス 8～300 Ω
出力端子
\*スピーカー：500 mW + 500 mW
ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源
DC 3 V
単3形乾電池2個

電池持続時間\*
乾電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
本体寸法\*
約112.0 × 82.5 × 35.0 mm（幅/高さ/厚行き、最大突起部含まず）
最大外形寸法\*
本体のみ 約190 g
ご使用時 約236 g（2本含む）

\* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

- ラジオ部**

受信周波数
FM（ステレオ）：76.0～90.0 MHz
AM（モノラル）：531～1 710 kHz
TV（モノラル）：1～12 ch\*

- \* 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声聞くことはできません。

- 別売リアクセサリー**

ACパワーアダプター AC-E30L（日本国内用）、ステレオイヤホン（ヘッドホン）MDR-E930、MDR-E931、カーバッテリーコード DCC-E230

本機の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。